



位置について、よ〜い…



ゴールまで、あとちょっと。

## 競っても、楽しんで…。 参加することに意義あり

2月9日(日)、大滝区総合運動公園で「第24回おおたき国際スキーマラソン」が開催されました。

「クロスカンリースキー」というスキートの幅が40mm程度と狭く、1セットあたりの重さが1キロ前後の軽いものを使い滑走します。

ここ数年の中では比較的温暖な天候に恵まれたものの、午前10時ごろで約マイナス7度という寒さ。約730名の参加者は、3キロから30キロのそれぞれのコースを自分にあったペースで駆け抜け、冬ならではの大自然を満喫しながら、爽やかな汗を流しました。

## NEW「消防ポンプ自動車」登場

2月5日、伊達消防署に新しい消防ポンプ自動車が配備され、市役所前でお披露目されました。

この車両は伊達消防署初「圧縮空気泡消火装置」を装備。泡で消火する方法は、放水よりも消化力が強い上、少ない水量での消化が期待できます。

鉤巻義和伊達消防署長は「消火栓などの水利施設が少ない場所での消火を今まで以上に効率的に行うことが可能になりました」とより迅速な消火活動への期待をのぞかせていました。



お披露目された新消防車

手作りの資料を見せながら講演する高橋さん



## チャレンジ・エイヤッ！ 「受け入れることで世界が広がる」

2月15日、カルチャーセンターで「男女共生セミナー」が行われました。

講師には、子育てをしながら、フランス語や英語を生かし世界中でいろいろな企画を成功させ、ひよんなことから伊達市へ移住した高橋陽子さんを迎えました。高橋さんは、「2020年、オリンピックが道内で行われるならぜひ手伝ってみたい」と話し、今なお積極的に人生を楽しもうとする様子に会場のみなさんも元気をもらっていたようです。

## 今年も子どもたちの歓声が… 第五戦「伊達雪まつり冬の陣」

2月16日、総合公園だて歴史の杜で「第五戦伊達雪まつり冬の陣」が行われました。

「イベントが少ない冬期間に雪が少ない伊達独自の身近でアットホームなおまつりを」という思いで伊達青年会議所のメンバーが中心となってこの催しがスタートして今年で5回目。

今回も多く家族連れでにぎわい、特設すべり台や雪だまストラックアウトなどのコーナーには子どもたちの元気な声が響いていました。



お見事！ストライク！

子ども達の拍手で締め



## 最後の「だてラジオ配信」 緊張の収録。終わりはにぎやかに

2月13日、伊達小学校でFMびゅう「だてラジオ配信」の収録が行われました。

今回で最後となるこの放送のとりを飾ったのは、5・6年生の放送委員と2年生の児童約110名の皆さんです。

集まった児童みんなでの校歌の収録後に、放送委員が学校の行事を互いにインタビューしあいながら紹介。緊張していたようですが最後の拍手を収録するときには、楽しそうな様子を見せてくれました。



## 次の噴火への「備え」していますか？

2月4日、防災センターで有珠山の噴火災害に関する防災講演会が開催され、約60人の市民などが参加しました。

平成12年3月の有珠山噴火から間もなく14年が経ちます。

講師の宇井忠英北大名誉教授は、将来起こるかもしれない災害やそのときまでに何をしたらいいのかなどの講話のあと、「避難する市民とそれを支える行政などが双方向でコミュニケーションをとれば不安を減らすことができる」として、近い将来おきるであろう噴火への心構えについて説明しました。



お話いただいた北海道大学名誉教授  
宇井忠英さん

熱心に聴く会場の皆さん